

NTT西日本グループのサステナビリティ活動の考え方

NTT西日本グループは、コーポレートスローガン「あしたへーwith you,with ICT.」を掲げ、ワクワクする未来をめざし、ステークホルダーの皆さまとともに挑戦を続けています。

今後、私たちを取り巻く環境の変化はさらに加速することが予想されます。大きく変化する時代の中でも、地域社会やお客さまとともに発展し、成長し続けるため、2021年、NTT西日本グループは新たな存在意義「パーパス」を定めました。私たちは、持続可能な社会の実現に向けて、パーパスで描く「あらゆる人々が幸せで豊かな未来の姿」を追求しつづけます。

このパーパスに基づき、私たちNTT西日本グループは、社会を取り巻く環境変化がもたらすさまざまな課題に対し、ICTを活用し解決する「ソーシャルICTパイオニア(地域のビタミン)」として社会の発展、SDGsの達成に貢献します。

具体的なサステナビリティ活動については、NTTグループが2021年11月に新たに制定した「NTTグループサステナビリティ憲章」に則り、グループ一体となって取り組んでいきます。

パーパス

NTT西日本グループは、1999年の設立以来、「西日本スピリッツ」をもとに、事業活動を展開してきました。

2021年、経営環境や社員の価値観等の変化を踏まえ、新たな事業運営体制への移行を契機に、「西日本スピリッツ」を再定義しました。新たな「西日本スピリッツ」は、企業・組織・社員として不変/普遍的の志を表し、その判断・行動の道標となるように、NTT西日本グループの「パーパス」を定めました。

「パーパス」とは、インターナル/エクスターナル双方のブランディングに通底し、将来にわたって企業・組織と社員が共有する、普遍的な存在意義です。

パーパス

「つなぐ」その先に「ひらく」 あたらしい世界のトビラを

私たちは、地域社会の一員として、
あらゆる人々が幸せで豊かな未来の姿を追求しつづけます。
そのために、技術と知恵をみがき、
新たな価値の共創に挑戦します。

コーポレートスローガン

あしたへーwith you,with ICT.

NTT西日本グループは、未来へ向かってお客さま、パートナーのみなさまと一緒に、
あたらしい価値を生みだしていきます。

通信で培ったテクノロジーを礎に、人を、技術をアイデアをつなぎ未来のソリューションを創造していく。
私たちは、ICTでワクワクする未来を実現させます。

ビジョン

“ソーシャルICTパイオニア”をめざして

NTT西日本グループは、社会を取り巻く環境変化がもたらすさまざまな課題に対し、ICTを活用して解決する先駆者(地域のビタミン)として社会の発展、持続的成長(SDGsの達成)に貢献し、地域から愛され、信頼される企業に変革し続けます。

私たちは、持続可能な社会の実現に向けて、ステークホルダーの皆さまとの共生・成長により「ソーシャルICTパイオニア」として地域社会の課題解決に貢献していきます。

● NTT西日本グループのビジョン



NTTグループサステナビリティ憲章

NTTグループは、これまでのCSR憲章を再構築し、新たに「NTTグループサステナビリティ憲章」を制定しました。本憲章に基づき、NTTグループは、高い倫理観と最先端の技術・イノベーションを可能とするIOWN構想の推進をはじめ、「企業としての成長」と「社会課題の解決」を図り持続可能な社会の実現をめざします。

具体的には、3つのテーマ「『自然(地球)』との共生」、「『文化(集団・社会~国)』の共栄」、「『Well-being(幸せ)』の最大化」を設定し、取組みを推進します。

NTT西日本グループも同様に、3つのテーマに沿って社会課題の解決に努めていきます。

● NTTグループサステナビリティ憲章の3つのテーマと9つのチャレンジ

3つのテーマ		9つのチャレンジ
「自然(地球)」との共生	環境問題の解決と経済発展の両立に貢献します。	・社会が脱炭素化している未来へ ・資源が循環している未来へ ・人と自然が寄り添う未来へ
「文化(集団・社会~国)」の共栄	民主的で多様な文化を認め合いながら発展する社会と価値創造に貢献します。	・倫理規範の確立と共有 ・デジタルの力で新たな未来を ・安心安全でレジリエントな社会へ
「Well-being(幸せ)」の最大化	人権尊重とDiversity & Inclusionの推進によりあらゆる人々の幸せの最大化に貢献します。	・人権尊重 ・Diversity & Inclusion ・新しい働き方・職場づくり

NTTグループサステナビリティ憲章

<https://group.ntt.jp/newsrelease/2021/11/10/pdf/211110da.pdf>

SDGsへの貢献(事業とSDGsのつながり)

SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年に国連総会で採択された「2030年に向けて国際社会が持続可能な開発のために取り組むべき17の目標」です。NTTグループでは2016年9月にSDGsに対する賛同を表明しました。

NTT西日本グループは、社会を取り巻く環境変化がもたらすさまざまな課題に対し、ICTを活用し解決する「ソーシャルICTパイオニア」として、社会の発展、持続的成長(SDGsの達成)に貢献することをめざしています。

NTT西日本グループは、サステナビリティ活動を推進するため、NTTグループのサステナビリティ憲章の3つテーマに取組みを分類し、重点活動項目を設定しています。これらの重点活動項目や自業務をSDGsと関連づけ、事業運営を図っています。

「NTT西日本グループの業務は、直接的もしくは間接的にSDGsに貢献している」ということを、社員一人ひとりが意識しながら、日々の業務に取り組むことで、NTT西日本グループはSDGs達成に貢献し、地域の方々から愛され、信頼される企業群に変革し続けます。



● SDGsへの貢献に向けたおもな取組み

- 「自然(地球)」との共生 **CASE** 地域の輪で食品残渣を削減地域食品資源循環ソリューションの推進 P.19
- 「文化(集団・社会~国)」の共栄 **CASE** 地域社会・住民の健康増進を支援新会社の未病ケアソリューション P.35
- 「Well-being(幸せ)」の最大化 **CASE** 社員のチャレンジと成長を促進する社内ダブルワークの積極的運用 P.53

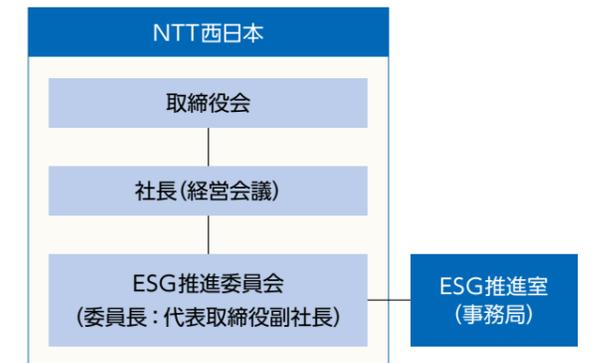
推進体制

NTT西日本グループでは、これまで、代表取締役副社長を委員長とする「CSR推進委員会」を設置し、活動方針やKPI、施策の検討・決定を行うことで、CSR活動推進に向けたマネジメント体制を明確にしてきました。2020年度は2回、委員会を開催しました。

2021年7月には事業運営体制を見直し、組織能力の抜本的改革“CX(コーポレートトランスフォーメーション)”の一環として、ESG経営を強化する観点から「ESG推進室」を設置し、ESG経営推進に係る機能を一元化しました。また、CSR・SDGs、ダイバーシティ&インクルージョン、環境経営等のESGに関わる基本方針策定、活動の推進、全社横断的課題等を検討する「ESG推進委員会」を設置しました。

このような体制構築により、ESG経営・サステナビリティに関する取組みを一層強化することで、持続可能な社会の実現をめざしています。

● 推進体制



FORUM 「VI&KAIZEN推進フォーラム2021」の開催

NTT西日本グループは、2021年11月30日から12月3日にVALUE Innovation活動^{*1}とKAIZEN活動^{*2}のさらなる推進に向けて「VI&KAIZEN推進フォーラム2021(以下、フォーラム)」を開催しました。

フォーラム当日は、各ワーキンググループの施策に関する取組みの振り返りや導入加速に向けた課題解決の議論、KAIZEN優良施策の発表や水平展開に向けた議論等を行うとともに、地域密着力・現場力の強化に向けて、新たな事業運営体制でのさらなる組織能力向上に向けた意見交換等を通じて、支店と本社のコミュニケーションの充実を図りました。

また、SDGsやダイバーシティ&インクルージョン(D&I)に関するプログラムも開催しました。

SDGsの理解を深める「有識者講演会」、職場におけるSDGsに関する取組みの「優良事例発表会」、さらには、ダイバーシティを推進するワーキングメンバー等による活動内容発表会・意見交換会を行いました。

これらの取組みを通じて、全社員が「業務とSDGsのつながり」「D&Iの重要性」について理解を深める機会となりました。

今後も、社員一丸となってVALUE Innovation活動とKAIZEN活動の取組みを加速させるとともに、SDGs/持続可能な社会の実現をめざして取り組んでいきます。

※1 新中期経営戦略の実現に向けた、現業にとらわれないあるべき姿や新たな視点によるプロセス改革・顧客価値創造をめざす本社ワーキンググループ主導の活動
 ※2 現場で発生する課題に対して各現場で改善策を立案し、優良施策を水平展開する現場主導の活動



オンライン会議の様子

NTT西日本グループ「見える化」指標

NTT西日本グループは、2010年度からCSR活動における取組み達成レベルを推し量るための指標として「見える化」指標(KPI)を設定しています。特に事業と関係性の深い「見える化」指標に絞り込みを実施するとともに、各種目標とSDGsとの関連づけを行い、サステナブルな事業運営を推進しています。

CSR重点活動項目	「見える化」指標	定量数値	2020年度目標	2020年度実績	2021年度目標	関連するおもなSDGs
脱炭素社会の推進	温室効果ガスの排出削減	温室効果ガス排出量の削減率	2010年度比50%以上削減(2050年度)	自責温室効果ガス排出量 44.4万[t-CO ₂ e]	カーボンニュートラル(2040年度)	
	サービス提供を通じた社会の環境負荷低減	NTTグループソリューション環境ラベル取得数	1件	2件	1件	
	事業のエネルギー効率化取組み【EP100】	通信事業の電力効率	2017年度比2倍以上(2025年度)	2017年度比: 2.0倍 2013年度比: 9.9倍	2017年度比2倍以上(2025年度)	
	社用車のEV化率【EV100】	社用車EV化率	50% (2025年度) 100% (2030年度)	8.10%	50% (2025年度) 100% (2030年度)	
資源循環型社会の推進	資源循環利用の推進	廃棄物の最終処分率(撤去通信、建設廃棄物、オフィス)	1%以下	1.09%	1%以下	
		機器リユース率	90%以上	91.1%	90%以上	
ペーパーレス化の推進	環境貢献、業務効率化に向けた取組み	事務用紙の削減率	—	—	対前年度比減	
生物多様性の保全	みどりいっぱいプロジェクトの推進	みどりいっぱいプロジェクト活動府県	30府県	30府県	30府県	
ビジネス営業の強化	ビジネス営業強化に向けた取組み	ICT活用により自治体・企業と連携した地域活性化等につながる活動件数(報道発表ベース)	—	30件	—	
新領域ビジネスの拡充・開拓	新領域ビジネスの拡充・開拓に向けた取組み	新領域ビジネスのサービスリリース数(報道発表ベース)	10件	11件	13件	
			① 純増25万回線(2020年度) 契約数1,000万回線(2025年度迄) ② 対前年比増	① 純増41.8万回線 契約数984万回線 ② 600社(前年比+33社)	① 純増30万回線 ② 対前年比増	
光顧客基盤のさらなる拡大	光顧客基盤の拡大	① 光サービス契約数 ② コラボ事業者協業数	対前年度比増	26件(前年度比▲17件)	対前年度比増	
			① 0件 ② 99.9%	① 1件 ② 99.9%	① 0件 ② 99.9%	
通信サービスの安定性・信頼性確保	高品質で安定した通信サービスの確保 地域に密着した災害復旧の取組み	① 重大故障発生件数 ② 安定サービス提供率 自治体等との災害対策訓練等の実施件数	—	67件	—	
			累積600人以上	累計671人	累積750人以上(2025年度)	
セキュリティ強化	セキュリティ強化に向けた取組み	セキュリティ人材数(SA・Aレベル)	① 全対象者受講 ② 全対象者受講 ③ 全対象者受講	① 全対象者受講 ② 全対象者受講 ③ 全対象者受講	① 全対象者受講 ② 全対象者受講 ③ 全対象者受講	
法令遵守の徹底、高い倫理観、人権意識に基づく企業活動の実践	セキュリティ意識の醸成、人権の尊重、コンプライアンス遵守に向けた取組み	① 情報セキュリティ研修受講率 ② 人権啓発研修受講率 ③ CSR・コンプライアンス研修受講率	6.0%	6.3%	7.5%(2022年度)	
ダイバーシティの推進	女性活躍に向けた取組み 障がい者雇用促進に向けた取組み	女性管理者比率 障がい者雇用率	2.39%以上(除外率含み)	2.81% (除外率含み)	2.43%以上(除外率含み)	
			—	—	500認定	
デジタル人材育成	デジタルデータ活用・強化に向けた取組み	デジタル人材数(Aレベル)	対前年度比増	101.7%	対前年度比増	
働きがいのある職場の実現	働きがいのある職場づくりに向けた取組み	ダイバーシティアンケート得点(働きやすさ2指標、働きがい2指標の平均)	17.5%以下	21.3%	19.0%以下	
			37.0%以上	41.6%	43.0%以上	
健康経営の推進	社員の健康維持に向けた取組み	特定保健指導対象者率 特定保健指導完了率	0件	1件	0件	
安全労働の推進	労働災害の根絶	労災事故の発生件数(社員の労災、設備工事中の事故)	対前年度比増	33.8%	対前年度比増	
社会貢献活動の推進	イベント・ボランティア活動等への参加	社会貢献、ボランティア活動等への参加率				